

1 主題構成表

主題名 「真理を探究して生きる」 (中学校・第1学年)

資料名 「土と炎の芸術」 (加藤幸兵衛)

<p>■ 内容項目 A (5) 「真理の探究、創造」 真実を大切に、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。</p>	<p>■ 内容項目から見た生徒の実態 (意識) ・中学校に入学し、新しい分野の知識や技能を獲得することへの興味・関心が高まっている。 ・疑問を持ち続け、探究し続けていこうとする態度に弱さがみられる。 ・メディアから得た情報に頼りがちで、自ら確かめたり調べたりしようとする意識に弱さがある。 (要因) ・疑問を探究し続けたことで新たな見方や考え方につながった成功体験が少ない。 ・真理を探究することのよさについて実感が弱い。 ・視野が狭く、限られた見方や考え方で物事を判断してしまっている。 ・簡単に答えが出ることに価値を見出し、簡単に答えが出せる方法を求めている。</p>	<p>■ 資料の分析 ・本資料は、中国南宋で作られた青磁に魅せられた加藤幸兵衛が、真理を探究し続け、自分の目指す青磁を創造していく姿が描かれている。 ・5年間探し求めた土で焼いた作品を全部割ってしまう幸兵衛の姿から、真理を探究していく中では、誰もが挫折してしまうことがあるという弱さや、目指す青磁を求め続けていく幸兵衛の素晴らしさに共感することができる。 ・試行錯誤して、思い通りの色を作り出し、見事な青磁をつくり上げたにもかかわらず、「うむ、これからじゃ。まだこれからじゃ。」とつぶやく84歳の幸兵衛の姿から、真理を探究し新しいものを生み出そうとすることが自らの生きがいとなっていることに気付く。</p>
<p>■ ねらい 試行錯誤を重ねつつも妥協することなく、新たな見方や考え方を取り入れながら探究し続けることが自らの生きがいにつながることに気づき、願いの実現に向け、生活の中で工夫して新しいものを生み出そうとする態度を育てる。</p>		
<p>■ 展開の構想 ・幸兵衛が自らつくった皿を割る行為について考えさせる中で、仲間の多様な考え方や感じ方に気付くことができるようにする。 ・真理を探究しようとしている生き方に目が向けられるようにする。 ・84歳になってもなお自分が目指すよりよい青磁を求めて探究する幸兵衛の生き方の素晴らしさに気付くことができるようにする。</p>	<p>■ 基本発問 (◎中心発問) ○5年間探し求めた土で焼いた皿を割った幸兵衛をどう思いますか。 ◎「うむ、これからじゃ。まだこれからじゃ。」と言いながら、84歳の幸兵衛をなお突き動かしたものは何でしょうか。 ○よりよいものをつくり上げようと新たな方法を求めて取り組むことを、今後の自分の生活の中でどのように生かせるでしょうか。</p>	
<p>■ 「私たちの道徳」の活用 (授業前 ・ 授業中 ・ 授業後 ・ 活用しない) (活用の仕方) P34 「あなたの夢や理想を実現するために、今どうすることが大切なんだろう」についての考えを書く。</p>		